



◇応急手当の重要性◇

もし、あなたの目の前で突然の事故や病気が発生し、救急現場に居合わせたらどうしたらいいのでしょうか？

①迅速な119通報 → ②適切な応急手当の実施

この2つが速やかに行われ、現場に駆け付けた救急隊員の応急処置と搬送・医療機関での治療連携が加わった一連の流れを「救命の連鎖」といいます。これが1つでも欠けることなくスムーズに行われることで傷病者の救命効果が一層向上します。日頃から心肺蘇生法やAEDの使用法などを身につけておくと万が一の時に役立ちます。

AEDとは、けいれん状態の心臓に電気ショックを与えて心臓を正常に働かせるための医療機器で一般市民の方でも使うことができます。また、AEDを使用するだけでなく人工呼吸や胸骨圧迫などの心肺蘇生法を行うことで傷病者の命が助かる可能性が高くなります。

秋の火災予防運動のお知らせ

「忘れてない？ サーフにスマホに 火の確認」

平成30年10月15日(月)から21日(日)までの1週間にわたり秋の火災予防運動が実施されます。

また期間中は村内に看板や火の用心の旗を設置し、防火対象物の立入検査や一般家庭防火訪問及び、昼夜間防火パトロールを実施します。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

薪ストーブの取扱に注意しよう

- 煙道火災を予防しましょう！
 - ◆煙突内に煤やタールがたまらないように点検、清掃を実施しましょう。
(煤が3mm以上付着している場合は、早急に煙突の清掃が必要)
 - ◆煙突内から金属音やひび割れ音が発生した場合は、火災になる危険性が高いので直ぐにストーブを消火し点検をおこなってください。
 - ストーブの周囲に燃えやすい物を置かない！
(洗濯物を乾燥する場合も、安全な距離をとってください)
 - 適切な燃料を燃やしましょう！
(湿った薪を使用すると煤がたまるため乾燥した薪を使用してください)
(決められた燃料以外は使用しないでください)
 - 灰の処理は正しく行いましょう！
 - ◆ごみ箱などに入れると残り火で火災となる危険があります。
段ボールやビニール袋にも絶対に入れないでください。
 - ◆完全に火が消えたのを確認し、ふたのある不燃性の取灰入れに入れて処理しましょう。また、取灰入れは、可燃性の物品から離して、不燃材の床の上に置いてください。
- ※不明な点は、ストーブの設置業者や販売店に相談してください。

